中学校　第１学年　（学級活動）学習指導案　例

１　題材名　大災害にそなえ，食の準備の大切さを考えよう

　　　準備物：ワークシート、非常食（実物）

２　本時について

（１）ねらい

　　災害時における食事の大切さを理解し、食についての準備をしようとする態度を養う。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 子どもの活動 | 教師の支援 | 備考 |
| １　災害時の様子についてイメージし、どんなことに困るか考える。・電気、水が使えない・食事が作れない大災害にそなえ、食の準備の大切さを考えよう２　災害時の備えとして必要な物を考える。○災害時に必要な備えを発表する。　　・非常持ち出し袋　・家具の固定　　・ハザードマップの確認　　・避難訓練　　・情報の理解○班で災害時に必要な物を選ぶ。○班ごとに発表する。３　非常食を準備しておく際の留意点について考える。　　・１日分の必要な量　　・賞味期限、消費期限４　学習を通してわかったことや今後の災害への備えについてワークシートに記入し、本時のまとめをする。　・自助　・共助　・公助 | ・災害時には水道やガス・電気などのライフラインが使えない状況になることから、日頃の備えが大切だと気づけるようにする。・救援物資が運ばれてくるまで３日間かかることを伝え、それまでに何が必要であるかを考えやすいようにする。・班での話し合いや班ごとの発表を通じて、環境や個人の考え方によって災害時に必要であると考える物や量が違うことを理解できるようにする。・各班が共通して選んでいるものに着目することにより、生きていくためには水と食料が欠かせないことに気づけるようにする。・非常食を実際に提示し、種類や食べるときの条件を伝えることにより、非常食についての理解を深める。・非常食の賞味期限や消費期限を定期的に確認して交換するなど、災害への備えを習慣化することが大切であることに気づけるようにする。・学習を振り返り、災害に備えて自分ができることをワークシートに書くことにより、実践しようとする意欲を高める。 | ワークシート非常食（実物）ワークシート |